

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

対象者 8名 葉山校

実施時期:令和 5年 10月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4		戸外遊び等に分かれて、活動スペースを十分に確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		適切な人員配置を組んでいる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	1	建物の構造上難しいものを除くと概ね適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			会議や朝礼などで活動目標を確認したり、振り返りを行っている。業務で改善すべき点は共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			ホームページで閲覧できるようにし、保護者から頂いたご意見は、職員で話し合い業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5		他事業所の方にもお越し頂きご意見をお聞きする機会を設けたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			積極的に研修を行う機会をいただいている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		アセスメントやモニタリング後に児発管が作成し他職員と会議を行い適切に作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4		家庭での様子や、学校での様子を把握し、情報収集を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		イベントの時など分担して準備を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		児童の意見も取り入れながら工夫した支援を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		季節のイベントや制作など取り入れながら、可能な限り個別対応をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		児童の特性を考慮し計画を作成している。情緒面や体調を考慮し適切に組み合わせている。
	15	支援開始前、終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、支援内容や役割分担について確認、共有しているか	7		1	毎朝欠かさず職員全員で確認している。また朝礼時以外でも確認できるよう職員間で声掛けを行っている。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			業務日誌の書き方を見直し研修を行い、マニュアルを参考に記録をとっている。支援内容の改善等話し合っている。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		モニタリングはその都度利用者一人一人適切に行われている。担当職員を中心としてモニタリング会議を行い、定期的に支援計画の見直しを行っている。
	18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	2		偏りがないように様々な組み合わせている。
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		必ず詳しく知っている担当者が出席するようになっている。主に児発管が参加している。

関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1		保護者を通して行うことが多い。お迎え時、学校で話すこともある。
	21	医療的ケアが必要な子どもがいる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5		現在、該当児童なし。すぐに医師と連絡が取れるようにしている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の情報収集と理解に努めているか	3	5		保護者や相談支援事業所を通して未就学児の情報収集をしている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供できる体制を整えているか	4	4		現在まで、該当児童なし。今後あり得る時には対応したい。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		助言を頂き研修にも積極的に参加している。
	25	様々な場面で、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	1	公園等で遊ぶ時に交流がある。
	26	地域との交流を図るために、積極的にイベントに参加しているか	7		1	コロナ禍のため参加できなかったが、今後は機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎時やLINEでお伝えしている。保護者との連携は行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	6		個別面談時にアドバイスなどを行なっている。ペアトレは必要に応じ、これから実施し
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		契約時に丁寧に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			悩み事など傾聴し助言も行うが適切であるか自信がないこともある。保護者から相談しやすい雰囲気作り
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7		現時点では要望がないため行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			職員間で情報を共有し改善に努めている。苦情やトラブルが発生したときには迅速に児発管が適切な対応を取っている。
	34	定期的に文書やSNS等を発信し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して行なっているか	5	3		LINEや毎月文書での発信を行なっている。長期休み前は、活動予定表の文書配布を行なっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			個人情報が記載してある書類の破棄に関してはシュレッダーにかけると行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			わかりやすい言葉にしたり、写真等を用いるなどの配慮をしている。
	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3		ホームページで閲覧できるようにしている。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			半年に1度は行っている。市の防災体験ひろばも活用している。

非常時等の対応	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			虐待防止の研修会の要項等周知を行った。 また研修会も実施した。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		利用者の安全確保のために行う場合があることを計画書に記載している。
	41	食物アレルギーのある子どもがいる場合は、医師の指示書に基づく対応ができるようにしているか	8			アセスメント時に必ず確認している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		支援経過のメモで作成している 情報共有はできている

